

# 最新手術機器ダビンチの操作を体験してみよう！

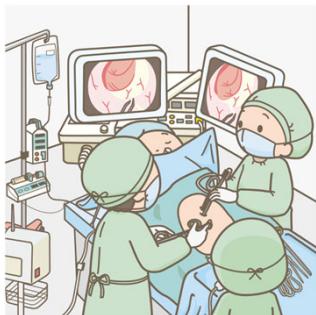
4本のロボットアームを操ってお腹の中を手術するロボット手術機器には沢山の種類があり、当院ではダヴィンチ サージカルシステム®という、全世界・日本国内ともに最も多く使用されている手術支援ロボットを採用しています。



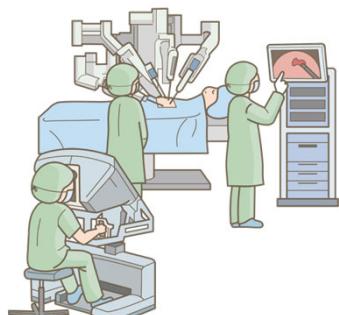
Intuitive社HPより転載



開腹手術



腹腔鏡手術  
(1985年頃～)



ロボット支援手術  
(2000年頃～)

- ・肉眼で見て手術を行う
- ・創が大きい分出血が多い
- ・患者さんへの負担大
- ・執刀医の負担大



- ・内視鏡映像をみながら鉗子を操作して手術を行う  
(先端が曲がらない)
- ・創が小さく出血が少ない
- ・患者さんへの負担小
- ・執刀医の負担大



- ・内視鏡映像をみながら鉗子を操作して手術を行う  
(先端が自由に曲がる)
- ・創が小さく出血が少ない
- ・患者さんへの負担小
- ・執刀医の負担小



傷が小さい上に組織を痛めずに手術でき、術後の回復が早くなります。  
執刀医がガウンを着ないで座って手術が出来る利点もあります！



最新の手術支援ロボットのダビンチを実際に操作し、輪っかをつかんで入れるゲームに挑戦してみよう！

